

## 喜多方市の3つの共通実践③ 地域と共に歩む学校づくりの推進

喜多方市教育振興基本計画の基本理念「自分と郷土を誇り、自立と共生の精神をもって、たくましく生きる喜多方人の育成」を受け、「ともに生き、ともに学び、ともに支え合うコミュニティ・スクール」を目指し、令和3年度より全小・中学校に学校運営協議会を設定し、学校・保護者・地域が一体となった「地域とともにある学校」づくりを推進します。

### 1 学校運営協議会の運営について

#### (1) 活動の視点

学校運営協議会では、「喜多方市の進めるコミュニティ・スクール方針」に基づき、活動の視点を次のように設定しています。

**視点1** **ひろげる** ○ 子どもの学びを豊かにする取組や子どもの学びの姿から大人の学びをひろげる。

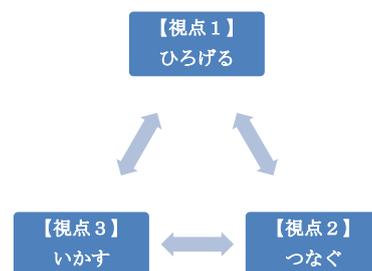
- (例) ・ 地域人材による学習支援 → 生涯学習の広がり
- ・ 子どもの学びから、地域のよさの再発見へ広げる

**視点2** **つなぐ** ○ コミュニティ・スクールの取組を通して、人・時間・仕組み・組織などをつなぐ。

- (例) ・ 地域の伝統芸能の継承
- ・ 小中学校と他の教育機関、企業との連携など

**視点3** **いかにす** ○ 学校や地域の課題解決を通して、よりよい学校・地域づくりにいかにす。

- (例) ・ 通学の安全確保 → より安全な地域の構築
- ・ 地域の防災意識 → 学校・地域協働訓練等による地域づくり



#### (2) 主な活動内容

- ① 基本的な方針の承認について
  - ・ 教育課程の編成に係わること
  - ・ 組織編成に係わること
  - ・ 学校経営計画に係わること
- ② 学校や教育委員会への意見の申し出について
- ③ 教職員の任用に関する意見の申し出について
- ④ 学校評価に係わること
- ⑤ 学校支援活動に係わること

### 2 令和3年度の方向性

#### (1) 熟議を通じた【視点3】「いかにす」の重視

学校と保護者と地域が一体となった熟議を重視します。その場で、学校の課題、地域の課題を明らかにしたうえで、目指す子どもの姿や地域の姿の共通理解を図り、委員がそれぞれの立場による手立てを検討し、実践につなげます。そうした共通理解や活動を学校と保護者と地域が一体となって継続していくことで、よりよい学校・地域づくりを持続可能なものとしていく。

#### (2) 教職員の負担軽減につなげる組織体制づくり

よりよい学校地域づくりに係わる熟議においては、モデル校の実績より、各協議会において教職員が主となり活動を推進している状況がありましたが、今後、委員全体で役割を分担することにより、教職員の負担軽減につなげる仕組みづくりを推進していきます。

- 協議会委員や教職員が代わろうと  
学校と保護者と地域の一体化を持続させる体制づくりを 熟議を通して
- 子どものよりよい成長と地域の発展につながる体制づくりを 地域とともに